

会議報告書 議事要旨（第4回庁舎検討懇談会）

-
-
- 【日 時】 2015/12/17 13:30～15:30
【場 所】 會津稽古堂 3F 研修室 2
【委 員】 出席 13 名、欠席 3 名（※別紙参照）
【事務局】 企画調整課 4 名 総務課 1 名
日本経済研究所 社会インフラ本部 2 名
【配付資料】 ・次第
・庁舎整備時に想定される事業手法一覧
-
-

【議事要旨】

- テーマ （1）庁舎の役割、整備目標とその位置を考える
（2）庁舎整備手法について研究する

1. 開会（企画調整課）

- ・ これまでは、市や現庁舎の現状、他市の庁舎整備事例等の情報を共有してきた。
- ・ また、現庁舎の歴史的価値や他の歴史的建造物の保存活用の事例について、三菱地所設計の野村氏からご講演いただき、庁舎整備に向けて理解を深めた。
- ・ 今回から、皆様から庁舎整備に対するご意見をいただき、集約していく段階である。

2. 議事

（1）庁舎検討（庁舎に求められる役割、庁舎整備の目標、庁舎整備の位置）

- ・ これからは、2グループに分かれてワークショップを行う。
- ・ Aグループリーダーとして当懇談会座長の柴崎委員、Bグループリーダーとして同副座長の宮澤委員に、各グループの進行をお願いしたい。

①庁舎に求められる役割

【Aグループ】

<委員意見等>

（まちづくり、まちの活性化）

- ・ 市のまちづくりへ対応すること
- ・ 地産地消無農薬レストランの併設によるまちの活性化
- ・ 夜間急病センター機能による医療体制の充実
- ・ 観光拠点の形成
- ・ 新企業に経営技術や人材などを提供し育成するインキュベーション機能を付加し、産業振興を図る
- ・ 多様なニーズに対応できるスペースを提供する

会議報告書 議事要旨（第4回庁舎検討懇談会）

- ・ 市民が集まれる中心的なイベント等のスペースを確保する
- ・ 文化的な催事場として有効活用し市民が集まる場を提供する
- ・ 交通網のかなめとしての役割

（防災、安全、安心の確保）

- ・ 避難所などの防災への対応
- ・ 安心・安全な市民サービスを向上させる
- ・ 災害発生時における市民の安全を確保する
- ・ 市民が安心して毎日の生活を送ることができるようにサポート
- ・ ユニバーサルデザインへの配慮
- ・ あらゆる人々が使いやすいよう工夫された建物として、先導的な役割を担う

（効率的・効果的な行政サービスの提供）

- ・ 効率的に行政業務を行うことができる
- ・ 一ヶ所で全ての用事を完結できる場所（ワンストップサービス）
- ・ 庁舎が分散されており統合が必要
- ・ ワンストップ機能
- ・ 分からないことがあっても解消できるコンシェルジュ（なんでも相談・解決）の役割
- ・ 困ったことがあれば相談に乗ってもらえる

（情報）

- ・ 多様な情報サービスを提供する

（景観形成）

- ・ 中心市街地に最適な景観形成を担う
- ・ 文化財として保存活用し、歴史的な価値を活かす

（その他）

- ・ フレンドリーなイメージ

【B グループ】

<委員意見等>

（市の象徴）

- ・ 庁舎が市民のシンボルとなり、観光施設の役割（観光案内所の併設）を担うこと
- ・ インキュベーション施設として、長岡市庁舎を参考に、大規模なイベントスペースを併設することも考えられ、色々な事業を組み立てる多目的機能があること
- ・ 景観保護の観点からも、観光スポットとなる庁舎
- ・ 市のランドマークとして、市の歴史的意味を捉えたシンボルのような庁舎

会議報告書 議事要旨（第4回庁舎検討懇談会）

- ・ 市民だけでなく、市民以外の方も利用できる庁舎
- ・ 七日町と野口英世青春通りと鶴ヶ城をつなぐスポット

（まちづくり・地域活性化）

- ・ 一連のまちづくりに資する
- ・ まちのにぎわいを創出するための拠点となる
- ・ 景観形成の視点からも、庁舎整備によって会津らしさを形成し、まちを先導できるもの、つまり、中心市街地活性化に寄与するもの
- ・ 将来を見据えた場合、市民及び市としても収益が上げられる市庁舎整備が大事であるため、儲けるとまではいかないにしても地域の活性化につながるもので、市民が参加しやすい仕掛けがあり、また、市民の他、観光の方にも来ていただけるようなもの
- ・ 市庁舎が、各種事業主体の宣伝に繋がる場所となれば、更に人が集まり、まちの活性化やニーズの掘り起こしにつながる
- ・ 庁舎としての利益だけでなく、市民の利益を追求した庁舎整備
- ・ 会津若松だけでなく、近隣地域と情報交換・連携し、「会津の中心となる市庁舎づくり」を目指すことが求められる

（防災の拠点）

- ・ 災害時等の防災拠点機能が求められる
- ・ 非常時・災害時の指令センターとして役割が求められる

（効率的・効果的な行政サービスの提供）

- ・ 市庁舎に行けば、あらゆる情報が手に入る
- ・ 来庁してもらう以上のメリットが享受できる
- ・ 各種行政サービスを提供する総合庁舎
- ・ 会津若松の情報発信機能が必要
- ・ 市行政資料の保蔵センターとしての役割
- ・ 市民の許認可サービスを行うこと
- ・ 簡単な市民サービスは各支所に分散し、なるべく来なくてもよい本庁舎

（景観形成）

- ・ 庁舎は、歴史や風土に帰着しており、その意味で大きな役割を果たす
- ・ 会津らしさが感じられる景観を形成している
- ・ 市の歴史を継承
- ・ まちなか修景の重要なポイント

（その他）

- ・ 庁舎について、建物としての役割と中身（機能）としての役割は別
- ・ 庁舎は、まちの戦略拠点となる

会議報告書 議事要旨（第4回庁舎検討懇談会）

②庁舎整備の目標（キャッチフレーズ）

【A グループ】

- ・ 市民の安心と安全を守る庁舎
- ・ ユニバーサルデザインの庁舎
- ・ 快適で円滑な庁舎を整備する

- ・ 誰もが訪れたいくなるような庁舎
- ・ 便利で市民が集える庁舎
- ・ 市民の集いの場
- ・ 憩いの広場
- ・ 子供も大人も皆で集まる楽しい庁舎

- ・ 高齢化・人口減少に対応した庁舎
- ・ 人が中心の庁舎
- ・ 市民も市外の人も気軽に来やすい庁舎
- ・ 市民レベルの複合的な庁舎
- ・ 市民ニーズを基本とした庁舎

- ・ いつでもなんでも速、対応
- ・ 誰でもわかりやすい庁舎
- ・ 簡易で明確な庁舎を整備する
- ・ 市民の水先案内人
- ・ 役割の見える庁舎

- ・ 会津の中心的存在
- ・ 情報発信の場
- ・ ラディカル（活発）な庁舎
- ・ 会津若松を持続できる庁舎

【B グループ】

- ・ 温故知新
- ・ 過去と現在 現在と未来の交差点 人と情報の交差点
- ・ レトロ（大正・昭和）新しい（機能、IT、情報）市庁舎
- ・ 七日町から歩いてきて、鶴ヶ城の前でひと休み
- ・ 歴史と文化を感じさせる未来に向かって歩いている市庁舎
- ・ 外見と中身にギャップあり！景観保存と最先端の機能
- ・ 市民と歴史と観光のハブ市役所
- ・ 情報が集まり情報発信拠点となる庁舎

会議報告書 議事要旨（第4回庁舎検討懇談会）

- ・ 便利でふれあいのある市庁舎
 - ・ 新たな発見 会津若松市
 - ・ 視察に来やすい市役所
 - ・ 住んでよし、訪ねて良しの庁舎
 - ・ 会津回帰したくなる庁舎
 - ・ 来なくていいけど来たくなる庁舎
 - ・ 元気で活気ある市庁舎
 - ・ みんなでいきたい市庁舎
-
- ・ 会津の未来をはぐくみ、まちづくりのシンボルとなる市庁舎
 - ・ 会津の心臓となる市庁舎

③庁舎整備の位置

【A グループ】

（現在地）

- ・ 現在の場所
- ・ 鶴ヶ城を中心とした城下町を形成しており、現庁舎の位置が良い
- ・ 近くに国・県の出先機関の官庁が集中立地されており、現庁舎敷地で良い
- ・ 現庁舎を中心とした市街地が古くから形成されており、現位置が望ましい

（その他）

- ・ 駅前
- ・ 車でアクセスの良い場所
- ・ 公共交通でアクセスが良い場所
- ・ わかりやすい場所がよい
- ・ 場所にこだわらない

【B グループ】

（現在地）

- ・ 現在の場所で隣接する東北電力と共同整備（視察ツアーが訪れるような庁舎）
- ・ 現在の位置で余計なコストをかけず、現庁舎の外観を残して耐震化し、新しい機能を持つ新庁舎を整備
- ・ 市民サービスが分散して提供されているのは不便で、現在の本庁舎の位置に総合窓口が設置され1つに集約される方がよい
- ・ 人の流れを考慮すると現庁舎の位置が良く、賑わいを保ちつつ整備
- ・ 今ある場所から整備位置を変えると大きく人の流れを変えてしまい、その変化への対応が難しいため、そこに生きる人の動きを見て庁舎整備の位置決定が望ましい

会議報告書 議事要旨（第4回庁舎検討懇談会）

- ・ 「パブリックスペースとしての機能」と「事務サービス機能」の提供が多く意見だと思った。まずは、市民が憩える場があって、そのうえで事務サービス機能というイメージ、City Parkという感じ

(その他)

- ・ 現庁舎位置が基本で、あえて分けるとすれば、シンボル・観光機能は現庁舎位置に残し、事務機能は旧学鳳に移す
- ・ 現庁舎位置が基本だが、敢えて違った場所を提案するのであれば、鶴ヶ城本丸に移すことも考えられ、その場合、人の流れが新たに生み出される
- ・ 今後、また近隣自治体との合併などの話が出てくる可能性を考えると、交通の要衝（現在よりも郊外）に整備することも考えられる
- ・ 旧陸上競技場。人との交流が盛んになると考える

- ・ 今ある建物を造り変えた場合、価値は変わるのか
⇒（企画調整課）大きく変わるかどうかはわからないが、「その場所にある」という価値もあると考えられる。

④発表

【Bグループ】

- ・ 市役所の機能としては、「防災」「効率的な行政サービス」という意見も多く出されたが、「観光に寄与する庁舎」や「シンボルとしての庁舎」といった機能が多く出された。
- ・ キャッチフレーズは、「歴史と市民をつなぐ」というキーワードが多く聞かれた。
- ・ 整備場所は、現在地という声が多かった。

【Aグループ】

- ・ Bグループは、庁舎整備に対する「象徴性」や「まちづくり」の視点に重きを置いた意見が多かったのに対し、Aグループでは、現庁舎の機能をどのように充足させるか、という視点での意見が多かった。
- ・ 「来やすい庁舎」や、「集いやすい庁舎」という意見が多く出された。他には「防災機能」や「まちづくり」という意見もあった。
- ・ 場所の議論まで深く行えなかったが、IT化が進む中で、将来的には庁舎に足を運ぶ機会が減ることが想定され、アクセシビリティはさほど重要ではないのではないかという意見があった。
- ・ アクセシビリティよりも、鶴ヶ城近隣に位置しているという意義を大事にすべきであるという意見があった。

会議報告書 議事要旨（第4回庁舎検討懇談会）

⑤講評（日本経済研究所）

- ・ 短い時間でボリュームのあるテーマに取り組んでいただき、非常に多くの意見が出された。庁舎の役割や目標の検討にもう少し時間をかけたかったと考えている。
- ・ 庁舎の役割は「安心・安全」を大前提としたうえで、「市民が集える場所」であるべきという声が多く聞かれ、委員の多くが、庁舎は「市民に根差し、地域活性化の中心となるべき施設である」と考えていることがわかった。

3. 第2部 事例研究（庁舎整備手法）（日本経済研究所）

- ・ 資料に基づき説明

<委員>

- ・ 整備費用の一部を市民に寄付などで負担していただき整備を行うという方法は、今回の事例のうち、どれにあてはまるか。
⇒（企画調整課）今回は含めていない。

4. その他（企画調整課）

- ・ 次回は、平成28年1月21日（木）13時30分から稽古堂3階、研修室2で開催予定である。第5回では「本庁舎を整備する場合の手法」と「今後の進め方」について検討したい。事務局からも、庁舎整備手法のイメージ等は案として今後出すつもりである。
- ・ 第6回については、平成28年2月10日（水）13時30分から稽古堂3階、研修室2で開催予定である。

以上

会議報告書 議事要旨 (第4回庁舎検討懇談会)

(別紙)

【参加者】 (◎印…ワークショップグループリーダー、敬称略)

グループ	氏名	備考
A	渡部 卓也	公募市民
B	小林 正人	公募市民
A	大須賀 啓次	公募市民
B	小椋 満幸	公募市民
A	松嶋 加代子	公募市民
A	斎藤 良雄	会津若松市区長会
A	宮森 泰弘 (※)	会津若松商工会議所 (代理：三橋氏)
B	澁川 恵男	株式会社まちづくり会津
B	小畑 匠	会津青年会議所
◎B	宮澤 洋一	会津若松スマートシティ推進協議会
B	竹内 樹美 (※)	福島県建築士会会津支部 (代理：堀氏)
A	佐藤 俊材	会津若松市地域公共交通会議
◎A	柴崎 恭秀	会津大学短期大学部教授

計 13 名

※代理出席による

【欠席者】

氏名	備考
渡部 香世子	公募市民
榎屋 奈津子	公募市民
中川 浩然	行政機関 (福島県会津地方振興局)

計 3 名

会議報告書 議事要旨 (第4回庁舎検討懇談会)

(ワークショップ作業成果)

【Aグループ】



会議報告書 議事要旨 (第4回庁舎検討懇談会)

【Bグループ】

